

長谷川幸子の行政書士塾 第3回勉強会開催のご報告

いつもありがとうございます。

町の法律家・行政書士。行政書士の業務分野は多岐に渡り活躍できる場面は数多く存在します。座学で知識を詰め込むだけではなく、様々な場面に触れる「フィールドワーク」を併せて行うことで、「行政書士の仕事」を体感し「行政書士の可能性」を実感する新しい勉強会「長谷川幸子の行政書士塾」。楽しく、風通し良く、「行政書士」を考える勉強会として活動しています。

▼第3回勉強会「出入国審査の現場で考える行政書士の国際業務」開催報告



令和6年4月16日、第3回勉強会「出入国審査の現場で考える行政書士の国際業務」を開催しました。

普段、私たちは在留資格関係のご相談に応じ、書類を作成し申請取次を行っています。一連の作業の中で業務を進めています。今回はそうした作業の外にある、「実際の出入国審査の現場」を見学することで、外国人目線から出入国審査の現場を体感し、今後の業務に活用できるよう学習会を開催しました。

当日は現場視察を前に、まずは特定行政書士・志水晋介先生による研修会を実施。事前に“予習”をした上で午後は羽田空港に向かいました。

国際線が到着する羽田空港第3ターミナル。今回、法務省から特別に許可を頂き第3ターミナルに隣接する合同庁舎「CIQ棟」、そして第3ターミナルの「出入国管理施設」を見学させていただきました。根岸功・東京出入国在留管理局羽田空港支局支局長から、羽田空港支局の業務概況についてご説明頂いた後、入国時の導線である上陸審査場や、自動化ゲート、顔認証ゲート等、そして空港内にある収容施設まで見学させていただきました。

普段私たちは申請取次の場面で外国人の皆さんと関わっています。その外国人の方々がどういう目線で、日本に入国し、そして出国するのか、実際に現場を見学させて頂くことで、大変勉強になる会となりました。

ご参加の皆さまに心から感謝いたします。どうもありがとうございました。

▼第4回勉強会について

8月30日～31日、“夏の特別企画”として、福島県・相馬市で1泊2日の研修会を実施します。テーマは「東日本大震災からの復興・相馬市で「見て」「聞いて」「感じて」考える、行政書士の役割」。

災害時、行政書士は、罹災証明申請のサポートなど、行政書士の知見を活かした様々なサポートができるはずです。今回は東日本大震災から現在まで復興の歩みを続けている、福島県・相馬市を訪れ、復興の軌跡、災害対策の現場を見学します。そして現地行政の防災担当者から直接お話を伺い、行政書士の役割を考える勉強会を開催します。

詳細は以下のホームページをご覧ください。。皆様のご参加お待ちしております。

「長谷川幸子の行政書士塾」ホームページ
HP: <https://hasegawa2021kanaga.wixsite.com/main>

